

シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。



特集

福岡市文学館 企画展「文学の記憶・福岡1945」協賛

映像の記憶 福岡1945

戦争と関わりの深い名作の中から、福岡にゆかりの作品を特集

無法松の一生

収蔵作品特集

日本を描く台湾映画



沙河悲歌



わんわん忠臣蔵

こねこのスタジオ

収蔵作品特集

東映アニメーション特集

東映アニメーション特集

日本の劇場アニメーションの歴史の中心として、
宮崎駿や高畑勲など現在のアニメーションを支える人材を輩出した東映動画の特集

7月27日(水)～8月7日(日) *休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

*定員制・各回入替制
*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
*障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)
*幼児は無料(必ず付き添いの方と一緒にご入場下さい)



ながぐつ三銃士

●7月30日(土)17:00 ●8月4日(木)14:00



1972年/35ミリ/カラー/53分/東映動画
監督:勝田貞治

東映の短編アニメ

●7月27日(水)14:00 ●8月6日(土)11:00



こねこのらくがき

1957年/35ミリ/モノクロ/13分/東映教育映画部

監督:坂下秀次

こねこのスタジオ

1959年/35ミリ/カラー/16分/東映教育映画部

監督:森やすし

夢見童子

1958年/35ミリ/カラー/15分/東映教育映画部

監督:藤谷虹児

ねずみのよめいり

1961年/35ミリ/カラー/13分/東映動画

監督:白川大作

こぎつねコンとこだめきボン

1989年/35ミリ/カラー/21分/東映教育映画部

監督:矢吹公郎

白蛇伝

●7月28日(木)11:00 ●8月6日(土)14:00



1958年/35ミリ/カラー/79分/東映動画

監督:数下泰司

わんわん忠臣蔵

●7月29日(金)11:00 ●8月7日(日)11:00



1963年/35ミリ/カラー/81分/東映動画

監督:白川大作

長靴をはいた猫

●7月30日(土)11:00 ●8月5日(金)14:00



1989年/35ミリ/カラー/80分/東映動画

監督:矢吹公郎

龍の子太郎

●7月31日(日)11:00 ●8月4日(木)11:00



1979年/35ミリ/カラー/75分/東映動画

監督:進山満郎

わんぱく王子の大蛇退治

●7月28日(木)14:00 ●8月6日(土)17:00



1963年/35ミリ/カラー/86分/東映動画

監督:岸沢有吾

太陽の王子 ホルスの冒険

●7月29日(金)14:00 ●8月7日(日)14:00



1968年/35ミリ/カラー/82分/東映動画

監督:高畑勲

どうぶつ宝島

●7月30日(土)14:00 ●8月5日(金)11:00



1971年/35ミリ/カラー/78分/東映動画

監督:池田宏

森は生きている

●7月31日(日)14:00 ●8月3日(木)14:00



1980年/35ミリ/カラー/65分/東映動画

監督:矢吹公郎

特集

福岡市文学館 企画展
「文学の記憶・福岡1945」協賛

映像の記憶

えいぞうのきおく 福岡1945

終戦60年を迎え福岡市文学館で開催される「文学の記憶・福岡1945」展協賛企画。戦争と関わりの深い名作の中から、福岡にゆかりの作品を特集

8月10日(水)～8月14日(日)

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

主催:映像ホール・シネラ実行委員会 福岡市総合図書館
共催:福岡市文学館

*定員制・各回入替制
*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
*障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です)

無法松の一生

●8月11日(木)13:30
●8月14日(日)16:00



1943年/35ミリ/モノクロ/79分/大映

監督:稲垣浩

出演:阪東妻三郎、藤井恵子

岩下俊作の「富島松五郎伝」を病床の伊丹万作が脚色、稲垣浩が演出した名作。戦時中の小倉を舞台に、腕っ節が強く、喧嘩早い車夫、松五郎がふとしたことから知り合った陸軍大尉の末亡人とその息子との交流を映像美と共に感動的に描いている。

陸軍

●8月10日(水)13:30
●8月14日(日)13:30



1944年/35ミリ/モノクロ/87分/松竹

監督:木下恵介

出演:田中絹代、笠智衆

原作は火野葦平。親子三代にわたり、西南戦争、日清、日露戦争、日中戦争と常に陸軍に命を捧げてきた福岡のある家族の姿を描いた作品。母が出征する息子を想い、群衆をかき分けながら走るラストが感動的。

海と毒薬

●8月10日(水)16:00
●8月12日(金)16:00



1986年/35ミリ/モノクロ/123分/「海と毒薬」製作委員会

監督:熊井啓

出演:奥田瑛二、渡辺謙

遠藤周作の同名小説を、社会派監督として知られる熊井啓が映画化。軍部の指導のもと戦争末期の福岡で実際に行われた米軍捕虜への生体解剖事件を、対照的な二人の若い医師の姿を通して描いた問題作。

土と兵隊

●8月11日(木)16:00
●8月12日(金)13:30



1939年/35ミリ/モノクロ/119分/日活

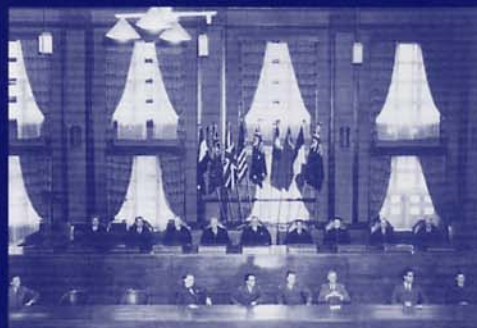
監督:田坂具隆

出演:小杉勇、井染四郎

日中戦争時に大ベストセラーとなった火野葦平のいわゆる「兵隊三部作」の中の一作、「土と兵隊」の映画化。大陸をひたすら徒歩で進みながら、転戦する兵士の姿をドキュメンタリータッチで描いていく。

東京裁判

●8月13日(土)13:30



1983年/35ミリ/モノクロ/ドキュメンタリー/277分/講談社

監督:小林正樹

音楽:武満徹

1948年に行われた極東国際軍事裁判、通称「東京裁判」は連合軍が日本の戦争責任の所在を追求する軍事裁判であった。この様子を収めたフィルムをその25年後米軍が公開、50万フィートに及ぶフィルムを編集し、戦争とは、国家とは何かを問うた力作。

おすすめ

ヤンヤン 夏の思い出 ●8月24日(水) 14:00
●8月27日(土) 14:00



2000年/35ミリ/
カラー/173分/
台湾=日本/
日本語字幕付き
監督:エドワード・ヤン
出演:ウー・ニエンジェン
イッセー尾形

この映画の主人公は台北のマンションに住む8歳の少年ヤンヤン。何不自由な生活でしたが、ある日祖母が倒れ昏睡状態に陥ります。介護に疲れた母親は精神状態が不安定になり、新興宗教に救いを求めます。父親のコンピューター会社は倒産の危機に陥り、ヤンヤンの姉は隣に住む少女のボーイフレンドと付き合うようになります。ヤンヤンは家族の様々なトラブルをじっと見つめていきます。三時間にも及ぶ作品ですが、長さを感じさせない作品です。観客はヤン

ヤン一家の物語にいつの間にか巻き込まれていくことでしょう。監督の計算された演出の素晴らしさののですが、監督はこの作品について「私はこの映画を見終わった観客が、まるで友達と一緒にいたような気分を味わってほしいと思う」と語っています。実際の作品は世界中で絶賛され、第53回カンヌ映画祭で監督賞を受賞しました。また日本人の役としてイッセー尾形が出演しており、大変味のある演技を見せてくれるのも、我々日本人にとっては嬉しい作品です。

君を送る心綿々 ●8月17日(水) 14:00
●8月20日(土) 17:00



1965年/35ミリ/モノクロ/100分/
台湾/日本語字幕付き
監督:リャン・チェーフ
出演:チェン・ヤン、パイ・ラン

日本統治時代末期の台湾。ケイジンは日本軍人に暴行した罪で強制労働させられていた。恋人のペレンはその後生まれた子供と共にケイジンの帰りを待つ。ところが戦後、ケイジンの死が伝えられ、ペレンは再婚する。そこにケイジンが帰ってくるのだった。50年代~60年代にかけて台湾で数多く作られた台湾語メロドラマの作品。

ある女の一生 ●8月18日(木) 14:00
●8月21日(日) 11:00



1985年/35ミリ/カラー/121分/台湾/
日本語・英語字幕付き
監督:チャン・イー
出演:ヤン・ホエイシャン、リー・リーチュン

主人公のクイメイは三人の子持ち男と結婚する。夫は優しい人物だったが、博打好きという欠点があり、生活は困窮を極めた。ついにクイメイは日本に働きにでる。お金をため台湾に帰って料理屋を開くが今度は台風に見舞われる。クイメイの苛酷な人生はそのまま台湾の戦後史と重なっていく。悲惨さを誇張せず一人の女性の半生を描いた作品。

村と爆弾 ●8月19日(金) 19:00
●8月26日(金) 14:00



1987年/35ミリ/カラー/97分/
台湾/日本語字幕付き
監督:ワン・トン
出演:リャン・パイチョウ、チョウ・シェンリ

1944年台湾南部の村。ある日畑から巨大な不発弾が見つかる。日本人の巡査は昇進のチャンスと思い、不発弾を町の日本軍まで運ぶことにする。巡査と村人は急な山道の中を爆弾を運んでいく。爆弾に右往左往する日本人と台湾人が滑稽に描かれた作品で、日本人を単純に悪玉として描いていないユニークなコメディ映画である。

天馬茶房 ●8月20日(土) 11:00
●8月24日(水) 19:00



1999年/35ミリ/カラー/95分/
台湾/日本語・英語字幕付き
監督:リン・チェンシェン
出演:リン・ギョン、シャオ・シェンシェン

1940年代の台北に実際にあった喫茶店「天馬茶房」に集う若者達を描いた作品。劇団・永楽座の女優アギンは、日本帰りの音楽家アジンと恋に落ちるが、切迫する戦争の中で二人は離ればなれになってしまう。台湾の歴史の転回点として有名な「二・二八事件」の発端となった天馬茶房前の「閨夕バコ摘発事件」を描いた初の台湾映画。

収蔵作品特集

日本を描く台湾映画

台湾映画の中には日本が登場する場面が数多くある
戦前から現代まで、台湾映画で描かれた日本

8月17日(水)~8月27日(土) *休館日・休映日除く
観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

*定員制・各回入替制
*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
*障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要)



天馬茶房

梅花 ●8月18日(木) 19:00
●8月27日(土) 11:00



1975年/35ミリ/カラー/90分/
台湾/日本語字幕付き
監督:リウ・ジャーチャン
出演:クー・チュンション、シルビア・チャン

太平洋戦争中の台湾。旧家の長男チュークアンは父親が日本軍に殺害され、中国の抗日戦線に参加する。チュークアンの友人だった池田大尉は、チュークアンの妻のウエンインの面倒を見るのだが、それは中傷の種でしかなかった。75年に蒋介石が死去し、70年代の台湾では日中戦争をテーマとした作品が流行し、本作は当時大ヒットした。

さよなら・再見 ●8月19日(金) 14:00
●8月26日(金) 19:00



1986年/35ミリ/カラー/100分/
台湾/日本語字幕付き
監督:チェ・チンション
出演:リウ・ロンカイ、ワン・シェンチャン

主人公は会社の命令で、取引先の日本企業の社員7人を台湾観光に連れて行くことになる。自分の故郷の温泉に日本人達を連れて行く主人公だが、日本人達の目的は買春であり、その世話もしなければならぬ。台湾と日本の複雑な関係が主人公の葛藤として描かれ、買春する日本人や、盲目的に日本に憧れる台湾人に対する批判となっている。

沙河悲歌 ●8月20日(土) 14:00
●8月25日(木) 19:00



2000年/35ミリ/カラー/100分/
台湾/日本語・英語字幕付き
監督:チャン・チヨン
出演:ホアン・ヤオアン、チャオ・メイリン

太平洋戦争後間もない頃の台湾。プリリオンはトランペット奏者を夢見て、旅回りの一座に入団する。しかしプリリオンは肺結核となり、一時田舎に帰ることになる。プリリオンは夢が捨てられずまた劇団に復帰するのだが…。芸術を志しながら夢やぶれたプリリオンの人生が、戦後の台湾の歴史と共に語られる。

無言の丘 ●8月21日(日) 14:00
●8月25日(木) 14:00



1992年/35ミリ/カラー/175分/
台湾/日本語・英語字幕付き
監督:ワン・トン
出演:ボン・チアア、ヤン・クイメイ

1920年代の台湾。アチューとアウェイの兄弟は日本人が経営する金山で働けば、お金を稼げると聞き、台湾北部の金山で働くが、そこの労働は想像以上に苛酷なものだった。当時の台湾の風俗が、台湾人だけでなく支配者であった日本人も含めて細かく描かれた異色の作品で、様々な人間模様が織りなされる傑作。

8月

上映スケジュール

7/27	水	東映アニメーション特集	[14:00] 東映の短編アニメ	
28	木		[11:00] 白蛇伝 [14:00] わんぱく王子の大蛇退治	
29	金		[11:00] わんわん忠臣蔵 [14:00] 太陽の王子 ホルスの大冒険	
30	土		[11:00] 長靴をはいた猫 [14:00] どうぶつ宝島 [17:00] ながぐつ三銃士	
31	日		[11:00] 龍の子太郎 [14:00] 森は生きている	
8/1	月		休館日	
2	火		休館日	
3	水		[14:00] 森は生きている	
4	木		[11:00] 龍の子太郎 [14:00] ながぐつ三銃士	
5	金		[11:00] どうぶつ宝島 [14:00] 長靴をはいた猫	わんわん忠臣蔵
6	土		[11:00] 東映の短編アニメ [14:00] 白蛇伝 [17:00] わんぱく王子の大蛇退治	
7	日		[11:00] わんわん忠臣蔵 [14:00] 太陽の王子 ホルスの大冒険	
8	月		休館日	
9	火		休映日	
10	水	映像の記憶 福岡1945	[13:30] 陸軍 [16:00] 海と毒薬	
11	木		[13:30] 無法松の一生 [16:00] 土と兵隊	
12	金		[13:30] 土と兵隊 [16:00] 海と毒薬	
13	土		[13:30] 東京裁判	
14	日		[13:30] 陸軍 [16:00] 無法松の一生	
15	月		休館日	
16	火		休映日	
17	水	日本を描く台湾映画	[14:00] 君を送る心綿々	
18	木		[14:00] ある女の一生 [19:00] 梅花	
19	金		[14:00] さよなら・再見 [19:00] 村と爆弾	
20	土		[11:00] 天馬茶房 [14:00] 沙河悲歌 [17:00] 君を送る心綿々	
21	日		[11:00] ある女の一生 [14:00] 無言の丘	
22	月		休館日	
23	火		休映日	
24	水		[14:00] ヤンヤン 夏の想い出 [19:00] 天馬茶房	
25	木		[14:00] 無言の丘 [19:00] 沙河悲歌	
26	金		[14:00] 村と爆弾 [19:00] さよなら・再見	
27	土		[11:00] 梅花 [14:00] ヤンヤン夏の想い出	
28	日	自主上映[福岡映画サークル2005年 第4回例会]		
29	月		休館日	
30	火		休映日	
31	水		休館日	

文学の記憶 福岡1945



福岡市文学館

(中央区天神1丁目15-30 赤煉瓦文化館)

7月27日(水)～9月4日(日)

午前10時～午後7時 ※月曜日 休館

入場無料

さきの大戦から60年目を迎えるこの夏、福岡市文学館では、檀一雄、火野葦平、富島健夫ほか、地元ゆかりの文学者が描いた福岡大空襲、敗戦、引揚から、福岡の1945年をみつめなおす展示を行います。

妻リツ子や愛息太郎とともに生きていた檀一雄の目に、あの日の燃える福岡の街はどのように映ったのか。西部軍管区報道部に所属し、きたる本土決戦に備えていた火野葦平に、8月15日の玉音放送はどう聞こえたのか。文学者たちが書き残した福岡の1945年をご覧ください。

主催：福岡市文学館（福岡市、福岡市文学振興事業実行委員会）

後援：（財）福岡市文化芸術振興財団

問い合わせ先 福岡市総合図書館文学・文書課

電話 092-852-0606



次号予告

収蔵作品特集 日本映画名作選

日本映画の名作・秀作をセレクトして上映
「蒲田行進曲」には英語字幕付きで上映

9月1日(木)～25日(日)

●上映作品

「伊豆の踊子」

「悲しき口笛」

「蒲田行進曲」(英語字幕付き)

ほか16本



INTERNATIONAL

■ ホームページ「うえぶシネラ」を開設しました。

今月の特集記事や、上映案内など、映像ホール・シネラの情報を掲載しているほか、シネラニュースもダウンロードできます。また、メールマガジンの会員も募集しています。是非、ご覧ください。

●うえぶシネラ アドレス <http://www.cinela.com>

■ ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄)

*詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

■ 自主上映のお知らせ *詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

8月28日(日) 福岡映画サークル2005年第4回例会

●にかい涙の大地から [11:00] [14:00]

観覧料/前売:1,200円 当日:1,400円 シニア:1,000円

主催/福岡映画サークル協議会(TEL 092-781-2817)

■ 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので、長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力いただけますようお願いいたします。



■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス：*天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約20分)*博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約25分) 福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。



福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館
(代表) 092(852) 0600
映像資料課 092(852) 0608
FAX 092(852) 0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
ホームページアドレス
<http://www.cinela.com>